

その他の廃棄物処理業における激突され災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	8～9	駐車場内にある洗浄槽で保守点検を行っていた際、しゃがんだ状態で槽内を点検していた所、左側面より社員の乗用車に当たられ、左半身に前輪が乗った状態で停止した。異変を感じた運転者が降車し、確認したがパニックになり、他の社員を呼びに行き、その社員が車を移動させたが、その際に前進で移動したため半身を轢かれた。	52	100 ～ 299
4	10～ 11	同僚とゴミの回収作業中、回収箱の中からゴミを持ち上げていたところ、同僚のゴミ袋が回収箱の蓋を支えていたひもに引っかかり、蓋がしまってしまい、倒れてきた蓋に頭を打った。	52	10 ～ 29
5	15～ 16	収集した大型ゴミを処理施設へ搬入する時、前処理機（破碎機）にゴミを投入するためバック誘導を行い、収集車両の荷台後方扉の右側フックを外し、左側フックを外したところ、開いていた扉が右膝の上に当たり負傷した。	24	50 ～ 99
6	11～ 12	当社工場内トラックスケール横にて、歩行者（ケガ人）とフォークリフトで運搬中の雑誌を入れた鉄かごが接触した。リフト部分を1m程上げていた為、鉄かごの下敷きになるような事故になった。運転手が工場よりリフトにかごを載せ、バックでトラックスケールに乗って計量し、左前方に進んだところ、工場内で作業が終わって歩いて来た歩行者に気付かず接触した。	62	1～ 9
7	11～12	収集コース途中にて粗大ゴミ（木製テーブル）を収集時、パッカー車の後部回転ばら作動中に木製テーブルを押し込んだ際、回転盤に接触し右手親指と人差し指を負傷した。	59	30 ～ 49
	17～	工場選別棟内にて、廃棄物選別後、仮置きしてあるダンボールを専用車両に積み込		50

7	18	み中、ダンボールの後ろにあったドアに気付かず、ダンボールを取って後ろ向きの状態になったときに、ドアが倒れかかって腰に当たった。	22	～ 99
9	15～ 16	環境課清掃業務班の非常勤職員である被災者は、午後にごみ収集の作業中、トラック荷台のアオリを開けた時に胸を強打した。	53	300 ～ 499
10	9～ 10	公園入口の車両止めの鍵を外しているときに、自車のサイドブレーキが甘く、またゆるやかな坂道だったため、車が前進し始めた。車両に背を向けて鍵を外していて又外しづらく手こずっており背後に気を使っていなかった。徐々に車両が当運転手の方へ進み、車両止めと車両に挟まれる様に当運転手に衝突した。	36	50 ～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html